

資 料 2

○ 調査

平成 24 年度弱視特別支援学級及び弱視通級指導教室の在籍状況調査

＜弱視特別支援学級用＞

- ・ 調査票の記入について
- ・ 調査票 I
 - 小学校弱視特別支援学級用
 - 中学校弱視特別支援学級用

＜弱視通級指導教室用＞

- ・ 調査票の記入について
- ・ 調査票 I
 - 小学校弱視通級指導教室用
 - 中学校弱視通級指導教室用

＜弱視特別支援学級等担当者及び指導状況等に関する調査＞

- ・ 調査票 II

平成 24 年10月10日

全国小・中学校弱視特別支援学級及び
弱視通級指導教室設置校 学校長 様

独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所
理事長 小 田 豊

(公印省略)

平成 24 年度弱視特別支援学級及び弱視通級指導教室の在籍状況調査に
ついて (依頼)

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素より弱視児童生徒の教育及び研究につきましては格段のご理解とご協力を
賜り、感謝いたしております。

さて、本研究所では、本年6月に各都道府県・指定都市の教育委員会のご協力により、
他の障害種を含め、全国小・中学校弱視特別支援学級及び弱視通級指導教室の設置状況
を調査することができました。

そこで、その設置状況調査結果をもとに各設置校の在籍状況を把握することにより、
我が国の弱視教育研究に役立てたいと考えております。

本調査は五年に一度の頻度で実施させていただいている悉皆調査で、今回の調査は平
成19年度に引き続き実施させていただくものです。特別支援教育の進展とともに、この
五年間には弱視特別支援学級等を取り巻く環境も様々に変化をしてくれているものと考え
ております。

つきましては、貴校の弱視特別支援学級あるいは弱視通級指導教室の在籍状況を、別
紙調査用紙にご記入の上、ご返送いただければ幸いに存じます。

なお、本調査でご回答頂きました個別情報は部外秘とし、公表いたしませんので、本
調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

ご多用中のところ誠に恐縮ですが、何卒よろしくお願い申し上げます。

調査用紙は同封いたしました返信用封筒にて、**平成24年10月31日(水)**までに
ご返送下さいますようお願いいたします。

<本件に関するお問い合わせ先>

田 中 良 広 (教育支援部)
電話 046-839-6852
E-メール yoshihiro@nise.go.jp
澤 田 真 弓 (教育研修・事業部)
電話 046-839-6854
E-メール sawada@nise.go.jp

調査票の記入について ＜弱視特別支援学級用＞

● 調査票の構成

- ・ 調査票は以下の2部構成となっています。
 - 調査票Ⅰ：児童生徒の障害状態と学習状況等に関する質問
 - 調査票Ⅱ：担当者のプロフィールと弱視特別支援学級学級における ICT の活用状況等に関する質問
- ・ 大変お手数をお掛けいたしますが、調査票Ⅰと調査票Ⅱの両方に回答して下さい。

● 記入にあたって

- ・ ご記入頂いた調査票の個別の情報については**部外秘**とし、公表いたしませんので、ご協力をお願いいたします。
- ・ 調査票への記入は、**平成24年10月1日現在**の状況をお願いいたします。
- ・ 該当する項目が**複数ある場合**には、**すべてに○**をつけて下さい。
- ・ 児童生徒の氏名欄には**イニシャル**もしくは**アルファベット等の記号**で記入して下さい。
- ・ 調査票が不足する場合は、大変お手数ですがコピーをとっていただき不足がないように記入していただきますようお願いいたします。
- ・ 調査票に記載されている用語につきましては、以下の説明をご参照下さい。
- ・ メールアドレスをお書きいただく場合は、担当者個人のものではなく学校あるいは弱視特別支援学級用のものをお書き下さい。

● 調査票に記載されている用語の解説と記入の仕方

【矯正視力と最大視認力について】

矯正視力

眼鏡、あるいはコンタクトレンズを装着した状態で検査した遠距離視力（5mの距離から測定した視力）を指しています。

最大視認力（最小可読視標）

最も小さな視物を認知する能力の指標のことで、最小可読視標とも呼ばれています。

最大視認力の検査の方法は、近距離視力用のランドルト環単一視標を用いて、児童生徒の最も見やすい視距離で検査し、どれだけ小さな視標を認知できたかを、①認知することのできた視標の値、②その時の視距離、③左右どちらの眼で見ているか、について記録します。

【使用文字について】

普通文字

点字に対する通常の文字を指しています。盲学校等では点字に対して「墨字」とも呼ばれています。

併用

何らかの事情で、普通文字と点字を併用している場合に選択してください。

困難

視覚障害の他に知的障害などの障害があるために、学習手段として文字の指導、あるいは文字の習得が困難な場合に選択してください。

【視覚補助具について】

欄中に書かれている選択肢は以下の視覚補助具を表しています。

対象の児童生徒が使用しているものすべてを○で囲んで下さい。

遠＝遠用弱視レンズ（単眼鏡）

近＝近用弱視レンズ（ルーペ）

拡1＝据え置き型の拡大読書器（CCTV）

拡2＝ハンディ型（手持ち式）の拡大読書器（CCTV）

遮＝遮光眼鏡

【使用教科書について】

検定教科書

文部科学省の検定を受けた教科書のことで、小・中学校で使用されている、いわゆる通常の教科書を指しています。ここでは「拡大教科書」や「拡大写本」と対比して、この用語を用いています。

拡大教科書

学校の設置者が弱視の児童・生徒用の教科書として採択した場合に、無償給与される拡大教科書のことで、教科書発行者等から出版されているものを指しています。

平成24年度現在、小・中学校用の全ての教科書が拡大教科書としても発行されています。

拡大写本

ボランティアグループ等が検定教科書を原本として、手書き、あるいはコンピューター、拡大コピー等を用いて作成した、いわゆる手作りの拡大教科書を指しています。

附則9条一般図書

学校教育法附則第9条の規定により選定される教科書図書のことで、教科書として発行されたものでない一般図書の中から教科書の代わりに使うことのできる図書を指します。以前は、いわゆる「107条本」と呼ばれていた書籍のことです。

【学習状況について】

個別指導時数

自立活動の指導や特定の教科の指導など、弱視特別支援学級において個別に指導を行っている週あたりの時数を記入してください。

交流時数

いわゆる「交流学級」において、交流及び共同学習を行っている週あたりの時数を記入してください。

交流をおこなっている教科・領域

いわゆる「交流学級」において交流及び共同学習を行っている教科名、各領域における活動名をすべて記入してください。記入の際には例に示したとおり、教科名等を短縮した形で表記していただいても差し支えありません。

【教科書の使用状況の詳細について】

ここでは、当該の児童生徒が使用している教科書の種類（検定教科書、拡大教科書、拡大写本）と拡大教科書と拡大写本のポイント数（文字の大きさ）について、教科ごとの使用状況を記入していただく設問となっています。

例にならって該当するものすべてを○で囲むか、拡大写本を使用している教科については、ポイント数をお書き下さい。

なお、拡大写本を使用している場合は文字の大きさ以外の配慮が施されている場合があります。その場合は、欄外に簡潔にその配慮点を記載して下さい。

（例：図表の作り直し、白黒反転など）

平成24年度 全国小・中学校弱視特別支援学級及び弱視通級指導教室の在籍状況調査票

小学校弱視特別支援学級用

学校名 _____

メールアドレス _____

記入者名 _____

※記入例にならって該当する番号等を○で囲むか、あるいは必要事項をご記入ください。

児童名	学年	性別	矯正視力	使用文字	使用教科書	学習状況
例	5	男	右 (0.3)	普通文字	検定教科書	個別指導時数 (14 時間/週) 交流時数 (13 時間/週)
			左 (0.1)	併用	拡大教科書	
		最大視認力	視覚補助具	拡大写本	交流をおこなっている教科・領域	
			1.0 / 4cm / 左	近 拡大1 拡大2 遮	附則9条図書	社、理、体、音、図、学活、総合

教科書の使用状況の詳細

	国語	書写	社会	地図	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	保健
検定	○ -	○ -	-	-	○ -	-	-	-	○ -	-	-
拡大教科書	18p 22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	○ A4判 AB判	18p 22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	22p	18p 22p 26p 30p
写本	P	P	P	P	P	P	P	P	P	26 P	P

児童名	学年	性別	矯正視力	使用文字	使用教科書	学習状況	
1		男	右 ()	普通文字	検定教科書	個別指導時数 (時間/週)	
			左 ()	併用	拡大教科書		交流時数 (時間/週)
		女	最大視認力	視覚補助具	拡大写本	交流をおこなっている教科・領域	
			/ cm /	遠近 拡大 遮	附則9条図書		

教科書の使用状況の詳細

	国語	書写	社会	地図	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	保健
検定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
拡大教科書	18p 22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	A4判 AB判	18p 22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	22p	18p 22p 26p 30p
写本	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P

平成24年度 全国小・中学校弱視特別支援学級及び弱視通級指導教室の在籍状況調査票

中学校弱視特別支援学級用

学校名

メールアドレス

記入者名

※次のページの記入例にならって該当する番号等を○で囲むか、あるいは必要事項をご記入ください。

生徒名	学年	性別	矯正視力	使用文字	使用教科書	学習状況
例	2	男	右 (0.3)	普通文字	検定教科書	個別指導時数 (14 時間/週)
			左 (0.1)	併用 困難	拡大教科書	交流時数 (13 時間/週)
			最大視認力	視覚補助具	拡大写本	交流をおこなっている教科・領域
			1.0 / 4cm / 左	(遠) 近 拡大 (拡大) 遮	附則9条図書	社、理、英、体、音、美、学活、総合

教科書の使用状況の詳細

	国語	書写	地理的分野	歴史的分野	公民的分野	地図	数学	理科	音楽	器楽合奏	美術
検定	(-)	(-)	-	-	-	-	(-)	-	-	-	(-)
拡大教科書	18p 22p 26p	18p 22p 26p	18p 22p 26p	18p 22p 26p	18p 22p 26p	A4判 AB判	18p 22p 26p	18p 22p 26p	18p 22p 26p	18p 22p 26p	18p 22p 26p
写本	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P
保健体育		技術分野	家庭分野	英語							
検定	(-)	(-)	(-)	-							
拡大教科書	18p 22p 26p	18p 22p 26p	18p 22p 26p	18p 22p 26p	18p 22p 26p		18p 22p 26p	18p 22p 26p	18p 22p 26p	18p 22p 26p	30 P
写本	P	P	P	P	P		P	P	P	P	P

生徒名	学年	性別	矯正視力	使用文字	使用教科書	学習状況
1		男	右 ()	普通文字 点字	検定教科書	個別指導時数 (時間/週)
			左 ()	併用 困難	拡大教科書	交流時数 (時間/週)
		女	最大視認力	視覚補助具	拡大写本	交流をおこなっている教科・領域
			/ cm /	遠近 拡1 拡2 遮	附則9条図書	

教科書の使用状況の詳細

	国語	書写	地理的分野	歴史的分野	公民的分野	地図	数学	理科	音楽	器楽合奏	美術
検定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
拡大教科書	18 p 22 p 26 p	A4判 A B判	18 p 22 p 26 p								
写本	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P
保健体育		技術分野	家庭分野	英語							
検定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
拡大教科書	18 p 22 p 26 p										
写本	P	P	P	P	P						

調査票の記入について ＜弱視通級指導教室用＞

● 調査票の構成

- ・ 調査票は以下の2部構成となっています。
 - 調査票Ⅰ：児童生徒の障害状態と学習状況等に関する質問
 - 調査票Ⅱ：担当者のプロフィールと弱視通級指導教室におけるICTの活用状況等に関する質問
- ・ 大変お手数をお掛けいたしますが、調査票Ⅰと調査票Ⅱの両方に回答して下さい。

● 記入にあたって

- ・ ご記入頂いた調査票の個別の情報については**部外秘**とし公表いたしませんので、ご協力をお願いいたします。
- ・ 調査票への記入は、**平成24年10月1日現在**の状況でお願いいたします。
- ・ 該当する項目が**複数ある場合**には、**すべてに○**をつけて下さい。
- ・ 児童生徒の氏名欄には**イニシャル**もしくは**アルファベット等の記号**で記入して下さい。
- ・ 調査票が不足する場合は、お手数ですがコピーをとっていただき不足がないように記入していただきますようお願いいたします。
- ・ 調査票に記載されている用語につきましては、以下の説明をご参照下さい。

● 調査票に記載されている用語の解説と記入の仕方

【矯正視力について】

矯正視力

眼鏡、あるいはコンタクトレンズを装用した状態で検査した遠距離視力を指しています。

最大視認力（最小可読視標）

最も小さな視物を認知する能力の指標のことで、最小可読視標とも呼ばれています。

最大視認力の検査の方法は、近距離視力用のランドルト環単一視標を用いて、児童生徒の最も見やすい視距離で検査し、どれだけ小さな視標まで認知できたかを、①認知することのできた視標の値、②その時の視距離、③左右どちらの眼で見ているか、について記録します。

【使用文字について】

普通文字

点字に対する通常の文字を指しています。盲学校等では点字に対して「墨字」とも呼ばれています。

併用

何らかの事情で、普通文字と点字を併用している場合に選択してください。

困難

視覚障害の他に知的障害などの障害があるために、学習手段として文字の指導、あるいは習得が困難な場合に選択してください。

【視覚補助具について】

欄中に書かれている選択肢は以下の視覚補助具を表しています。
対象の児童生徒が使用しているものすべてを○で囲んで下さい。

遠＝遠用弱視レンズ（単眼鏡）

近＝近用弱視レンズ（ルーペ）

拡1＝据え置き型の拡大読書器（CCTV）

拡2＝ハンディ型（手持ち式）の拡大読書器（CCTV）

遮＝遮光眼鏡

【使用教科書について】

検定教科書

文部科学省の検定を受けた教科書のことで、小中学校で使用されている、いわゆる通常の教科書を指しています。ここでは「拡大教科書」や「拡大写本」と対比して、この用語を用いています。

拡大教科書

学校の設置者が弱視の児童・生徒用の教科書として採択した場合に、無償給与される拡大教科書のことで、教科書会社等の出版社から出版されているものを指しています。

平成24年度現在、小・中学校用の全ての教科書が拡大教科書としても発行されています。

拡大写本

ボランティアグループ等が検定教科書を原本として、手書き、あるいはコンピューター、拡大コピー等を用いて作成した、いわゆる手作りの拡大教科書を指しています。

【指導時数及び指導形態について】

指導時数

記入例にならって、1週間あたりの指導回数と、その際の合計の指導時数を記入してください。

指導内容

記入例にならって、当該児童生徒に対して行っている自立活動や教科の補充等の指導内容を記入してください。

自校通級

弱視通級指導教室を開設している学校の児童生徒が指導をうけている形態を指しています。

他校通級

弱視通級指導教室を開設している学校以外の児童生徒が指導を受けている形態を指しています。

巡回指導

弱視通級指導教室の担当教師が弱視児童・生徒の在籍する学校を巡回し、個別指導や交流及び共同学習における、いわゆる入り込みの支援や、個別に自立活動などの指導をおこなうような指導形態を指しています。

教育相談

弱視通級指導教室以外の幼児・児童・生徒に対して、弱視通級指導教室の担当教師が定期的にあるいは不定期に教育相談を行う形態を指しています。

【教科書の使用状況の詳細について】

ここでは、当該の児童生徒が使用している教科書の種類（検定教科書、拡大教科書、拡大写本）と拡大教科書と拡大写本のポイント数（文字の大きさ）について、教科ごとの使用状況を記入していただく設問となっています。

例にならって該当するものすべてを○で囲むか、拡大写本を使用している教科については、ポイント数をお書き下さい。

なお、拡大写本を使用している場合は文字の大きさ以外の配慮が施されている場合があります。その場合は、欄外に簡潔にその配慮点を記載して下さい。

（例：図表の作り直し、白黒反転など）

平成24年度 全国小・中学校弱視特別支援学級及び弱視通級指導教室の在籍状況調査票

小学校弱視通級指導教室用

学校名 _____

メールアドレス _____

記入者名 _____

※記入例にならって該当する番号等を○で囲むか、あるいは必要事項をご記入ください。

児童名	学年	性別	矯正視力	使用文字	使用教科書	指導時数及び指導形態
例 MT	5	男	右 (0.3)	普通文字	検定教科書	指導時数 2 回、 6 時間/週
			左 (0.1)	併用	拡大教科書	指導内容 弱視レンズ指導、 算数、 国語
		最大視認力	視覚補助具	拡大写本	自校通級	他校通級
		1.0 / 4 cm / 左	近 拡大 (遮)	附則9条図書	巡回指導	教育相談

教科書の使用状況の詳細

	国語	書写	社会	地図	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	保健
検定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
拡大教科書	18p 22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	(A4判) AB判	18p 22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	22p	18p 22p 26p 30p
写本	P	P	P	P	P	P	P	P	P	26 P	P

児童名	学年	性別	矯正視力	使用文字	使用教科書	指導時数及び指導形態	
1	5	男	右 ()	普通文字	検定教科書	指導時数	
			左 ()	併用	拡大教科書	回、 時間/週	
		女	最大視認力	視覚補助具	拡大写本	自校通級	他校通級
			/ cm /	遠近 拡大 遮	附則9条図書	巡回指導	教育相談

教科書の使用状況の詳細

	国語	書写	社会	地図	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	保健
検定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
拡大教科書	18p 22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	A4判 AB判	18p 22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	22p	18p 22p 26p 30p
写本	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P

平成24年度 全国小・中学校弱視特別支援学級及び弱視通級指導教室の在籍状況調査票

小学校弱視通級指導教室用

学校名 _____

メールアドレス _____

記入者名 _____

※記入例にならって該当する番号等を○で囲むか、あるいは必要事項をご記入ください。

児童名	学年	性別	矯正視力	使用文字	使用教科書	指導時数及び指導形態
例 MT	5	男	右 (0.3)	普通文字	検定教科書	指導時数 2 回、 6 時間/週
			左 (0.1)	併用	拡大教科書	指導内容 弱視レンズ指導、 算数、 国語
		最大視認力	視覚補助具	拡大写本	自校通級	他校通級
		1.0 / 4 cm / 左	近 拡大 (遮)	附則9条図書	巡回指導	教育相談

教科書の使用状況の詳細

	国語	書写	社会	地図	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	保健
検定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
拡大教科書	18p 22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	(A4判) AB判	18p 22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	22p	18p 22p 26p 30p
写本	P	P	P	P	P	P	P	P	P	26 P	P

児童名	学年	性別	矯正視力	使用文字	使用教科書	指導時数及び指導形態	
1	5	男	右 ()	普通文字	検定教科書	指導時数	
			左 ()	併用	拡大教科書	回、 時間/週	
		女	最大視認力	視覚補助具	拡大写本	自校通級	他校通級
			/ cm /	遠近 拡大 遮	附則9条図書	巡回指導	教育相談

教科書の使用状況の詳細

	国語	書写	社会	地図	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	保健
検定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
拡大教科書	18p 22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	A4判 AB判	18p 22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	18p 22p 26p 30p	22p	18p 22p 26p 30p
写本	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P

平成24年度 全国小・中学校弱視特別支援学級及び弱視通級指導教室の在籍状況調査票

中学校弱視通級指導教室用

学校名

メールアドレス

記入者名

※次のページの記入例にならって該当する番号等を○で囲むか、あるいは必要事項をご記入ください。

生徒名	学年	性別	矯正視力	使用文字	使用教科書	指導時数及び指導形態
例	2	男	右 (0.3)	普通文字	検定教科書	指導時数 2 回、 6 時間 / 週
			左 (0.1)	併用	拡大教科書	指導内容 弱視レンズ指導、 数学、 国語
			最大視認力	視覚補助具	拡大写本	自校通級
			1.0 / 4 cm / 左	近 拡 1 (拡 2) 遮	附則 9 条図書	巡回指導 教育相談

教科書の使用状況の詳細

	国語	書写	地理的分野	歴史的分野	公民的分野	地図	数学	理科	音楽	器楽合奏	美術
検定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
拡大教科書	18 p 22 p 26 p	A 4 判 A B 判	18 p 22 p 26 p								
写本	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P
保健体育			家庭分野	英語							
検定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
拡大教科書	18 p 22 p 26 p		18 p 22 p 26 p								
写本	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	30 P

生徒名	学年	性別	矯正視力	使用文字	使用教科書	指導時数及び指導形態	
1		男	右 ()	普通文字	検定教科書	指導時数 2 回、 6 時間/週	
			左 ()	併用	拡大教科書	指導内容 弱視レンズ指導、 数学、 国語	
		女	最大視認力	視覚補助具	拡大写本	自校通級	他校通級
			/ cm /	遠近 拡大 2 遮	附則 9 条図書	巡回指導	教育相談

教科書の使用状況の詳細

	国語	書写	地理的分野	歴史的分野	公民的分野	地図	数学	理科	音楽	器楽合奏	美術
検定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
拡大教科書	18 p 22 p 26 p	A 4 判 A B 判	18 p 22 p 26 p								
写本	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P
保健体育		技術分野	家庭分野	英語							
検定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
拡大教科書	18 p 22 p 26 p										
写本	P	P	P	P	P						

